

「コロナのときに」

No17 同窓会

過去のメルマガ配信は浅香純子のプロフィール下よりご覧いただけます。

解剖学者の養老孟司さんが一般の方からの質問「違う考え方の人と分かり合えるにはどうしたら良いですか？」に「よくその人の話を聞くこと」「その人の話す話を途中で遮らないこと」と答えていらっしゃいました。（質問の内容が少しニュアンス違っているかもしれませんが）彼の回答にドキッとしました。コロナが始まる前の教室ではなるべくお客様の声を聴くことを心掛けていましたが途中で遮ったことがあるような気がします。

現在、銀座では最大4名で2人のスタッフで担当しております。一番良かったなと思っているのはお客様の話をよく聞ける、途中で遮らない、よくお顔を拝見することができることです。お互いのことが分かり合えるので自然に教室は楽しくなります。

つい先日の教室でお客様にお化粧品で困っていらっしゃることを質問したところ「加減が分かりません。」とご質問。え？湯加減？塩加減？メイクの量加減つまり厚さ、薄さの手加減がお分かりにならないとのこと。目から鱗の質問に1本取られたなと思いました。ファンデーションの量、アイシャドウの濃さ、すべて加減を見ながらアドバイスさせて頂きました。こういうときにコロナの環境の有難みを感じます。

年をとるごとに同窓会は増えるのではないのでしょうか。私の経験では還暦の年に5回ぐらいありました。年をとって無駄なことのひとつに「同窓会に出る」というご意見もたくさんあると思います。出る、出ない両方ありだと思えます。

今回は教科書vol.1より、同窓会に関するアンケート結果を紹介します。

「同窓会であなたが心を奪われたのはどんな人？」

1. 昔よりもキレイになった人（58%）
 2. 年相応なのに素敵な人（50%）
 3. オシャレが上手な人（35%）
 4. 肌に透明感がある人（30%）
 5. 若い頃と体型が変わっていない人（30%）
 6. 笑顔が素敵な人（24%）
 7. 実年齢より雰囲気若い人（22%）
 8. 見た目に若い人（20%）
 9. メイクが上手な人（16%）
 10. 言葉遣いがいい人（14%）
- * 30～59歳、複数回答です。

メイク上手の評価が低いのがなんだか気になりますが、なかなか興味深い結果でした。



今回は赤い桜とピンクのブーケです。桜はジョギング中にパチリ。ブーケはホワイトデーにいただいたもの。白い花も明るい花もともに綺麗ですね。

お問い合わせ

お客様センター



0120-288-653

平日のみ 9:00～16:00 (土・日・祝日はお休み)



あさか じゅんこ 浅香 純子プロフィール

「Say若創り学教室」主宰。長年、大手化粧品会社でブランドマーケティングに携わる。コスメブランド「RMK」では商品開発&PRを担当。「SUQQU(スック)」「CHICCA」などのブランドの立ち上げにも従事。2011年に退職後、大人のためのコスメブランド「Say」のブランドマネージャーに就任。2012年、東京・銀座に中高年女性向けのスキンケアとメイクを学ぶ「Say若創り学教室」をオープン。豪快でありながら説得力のある語り口が人気で、雑誌やテレビでも活躍している。近著に『50歳からは塗りすぎをやめると美しくなる』(大和書房)『いつになっても変わる 大人のメイクレッスン』(ナツメ社)がある。

「みなさんの質問。」の過去の配信はこちらからご覧いただけます。

「コロナのときに。」の過去の配信はこちらからご覧いただけます。

発行元：株式会社Say
〒104-0061
東京都中央区銀座2-12-12 7F
電話：0120-288-653
メール：support@saysay.co.jp